

しも なか い いち い せき はな まき し おおはさまち なん とう ぶ  
下中居 1 遺跡は、花巻市大迫町の南東部に位置しま  
す。花巻市大迫総合支所から東南東へ約 2 km、国道 396  
号線沿い東側の緩斜面上に立地しています。

本遺跡では、平成 15 年度の旧大迫町教育委員会に  
よる試掘調査や平成 20 年度の（財）岩手県文化振興  
事業団埋蔵文化財センターによる発掘調査が行われて  
います。

平成 15 年度の調査では、縄文時代前期末葉（約 5,000  
年前）の竪穴住居跡 1 棟のほか、炉跡や土坑が確認さ  
れました。出土遺物は、縄文土器、土偶、石製円盤や  
垂飾品などの石製品、石鏃や石匙などの石器がありま  
す。

平成 20 年度の発掘調査では、縄文時代前期末から  
中期初頭（約 5,000 年前）の竪穴住居跡 5 棟、土坑や  
炉跡、遺物は縄文土器、土偶や耳飾、石棒や板状石製  
品、石鏃や石匙などの石器が発見されました。

このほか、中世の竪穴建物跡 3 棟、近世以降の掘立  
柱建物跡 2 棟や柱穴  
列、採掘坑、近世墓  
が見つかりました。  
近世墓からは人骨や  
古銭、銅鏡、煙管な  
どの副葬品も見つっ  
ています。



出土した土製品・石製品（平成 15 年度調査）